

（第3種郵便物認可）

2008年（平成20年）7月4日

金曜日

不申

戸

職場内の力関係が生み出すパワーハラスメント（パワハラ）撲滅のための啓発用DVDを、職場での人権問題に取り組む「アトリエエム」（大阪府吹田市）が制作した。非正規雇用など立場の弱い労働者のパワハラ被害が急増しているとい

い、三木啓子代表（48）は「企業や経営者が意識を高め、人権侵害を許さない風土づくりをしてほしい」と阪神間の企業にも活用を呼び掛けている。（木村信行）

啓発DVD制作、11日にシンポも

大阪の会社

人権侵害許さぬ風土を

なくそうパワハラ



「パワハラは人権侵害」と訴える三木代表
―西宮市役所

厚生労働省の調査では、パワハラなど職場でのストレスが原因で「心の病」になり、労災認定を受けたのは二〇〇七年度、二百六十八人で過去最多を記録した。三木代表は吹田市立男女共同参画センターに勤務していた十年前、会社内でのパワハラやセクハラ相談を多数受け、〇五年、職場の人権問題に取り組む会社を設立。現在は阪神間などで企業研修に取り組んでいる。DVDは企業などの研修用を想定しており、タイト

ルは「パワーハラスメントをドラマ仕立てで再現して」そのときあなたは…（二）十六分、二万五千円。インタビューには実際にパワハラを受けた三人が登場。営業ノルマが厳しく、人格を否定する言葉で上司にノルマ達成を強要され続けた男性は「人間としての魂を吸い取られた気持ちになっ」などと生々しく証言している。また、同僚が見えぬふりをしたり、「あなたにも問題がある」と誤ったアドバイスをしたりして、二次被害を起しているケース

「多発するパワハラメントへの対応」と題したシンポジウムを開く。参加費は七千円。同社☎06・6872・5995

同社などは十一日午後二時―四時半、大阪市中央区のマイドームおおさかで